

平成20年7月31日

### 長崎市の交通渋滞緩和・CO<sub>2</sub>削減に取り組む委員会 が来月発足：九州運輸局の「活プロ」事業

九州運輸局では、平成20年度公共交通活性化総合プログラム、所謂、活プロ案件として、九州地区でも交通渋滞が著しく、CO<sub>2</sub>排出を含む排気ガスによる交通環境の改善対策が求められている長崎市をターゲットに、問題点の抽出、諸策の検討、有効な対策の提言を行うこととしました。メンバーは、長崎大学の杉山准教授を委員長とする学識経験者のほか、国の出先機関、地元県、市、町、警察、交通関係者、商工会議所等で構成され、本年度末を目標に結論を導き出そうとするものです。

本委員会の正式名称は「モビリティ・マネジメントによる長崎型公共交通利用促進方策に関する調査検討委員会」で、発足と併せて第1回目の委員会を下記のとおり開催します。

#### 記

1. 開催日時 平成20年8月4日（月曜日）13:30～15:30
2. 開催場所 九州運輸局長崎運輸支局（長崎港湾合同庁舎2階会議室）  
長崎市松が枝町7-29 電話：095-822-0010
3. 委員会の目的

近年、マイカー利用者の増加に反して、地域公共交通の利用者が減少しています。

その結果、交通渋滞が随所に発生し、加えてCO<sub>2</sub>を含む排ガスが地球環境レベルで問題視されています。

こうした交通環境の問題に対する有効な対策として、公共交通の利用促進が注目されています。マイカー通勤から公共交通への転換が図られれば、公共交通の活性化はもとより、CO<sub>2</sub>を含む排ガス削減効果による環境の改善や、交通渋滞による社会経済の損失を軽減することも期待されます。

本委員会では、マイカー利用から公共交通利用への転換を促進していくことに主眼をおき、公共交通の利便性向上、安全安心と経済性に配慮した対策、マイカー通勤者に対する心理的説得の方策について取り組みます。

#### ※「公共交通活性化総合プログラム」：通称「活プロ」

各地域における公共交通機関（鉄道、バス、旅客船、空港アクセス等）に関して住民・利用者に対するサービス内容の改善拡充やその実施が困難な事案について、九州運輸局が中心となって、関係者に参画・協力を呼びかけ、その解決に向けて、それぞれの関係者の合意を得ながら、総合的な具体的方策を策定するための制度。

(お問合せ先等) 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1  
九州運輸局交通環境部環境課 担当：尾堂、傳(つたえ)  
TEL 092-472-2330 FAX 092-472-2316